

「ウイルス性肝炎患者の院内コンサルテーション率および治療開始率の調査」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2021年1月6日～2021年12月31日

〔研究課題〕

ウイルス性肝炎患者の院内コンサルテーション率および治療開始率の調査

〔研究目的〕

B型、C型肝炎は慢性肝炎から肝硬変に進展し、肝臓癌を高率に発生させますが、現在はそれを阻止する治療が可能です。当院では術前検査などでHBs抗原、HCV抗体陽性で、肝臓専門医に受診されている情報のない患者さんのカルテに、2020年からInfection Control Teamが肝臓専門医への診察依頼（コンサルテーション）を促す記載を行っています。今回、当院におけるHBs抗原、HCV抗体陽性者のコンサルテーション率、治療開始率の調査を行います。

〔研究意義〕

コンサルテーション率、治療開始率を向上させることにより、B型、C型肝炎患者さんの肝硬変への進展、肝臓癌の発生を抑制します。

〔対象・研究方法〕

2019年1月1日から2020年12月31日までのコンサルテーション率、治療開始率を比較します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化し個人情報を保護します。個人情報が病院外に持ち出されることはありません。

〔その他〕

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：菊池健太郎（帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科学講座 准教授）

住所：川崎市高津区二子5-1-1 TEL：044-844-3333(代表) [内線 3213]